

平成 22 年度
第 1 回 長岡市図書館協議会

日 時 : 平成 22 年 7 月 22 日 (木) 午後 3 時から午後 5 時まで

場 所 : 中央図書館 2 階 講座室 1

会議出席者 委 員 : 渡邊委員長 淵本副委員長 荻野委員 恩田委員 熊倉委員 古塩委員
谷委員 中村委員 松本委員 山岸委員

事務局 : 野口教育部長 小倉館長 廣田補佐 岩淵庶務係長 松矢奉仕係長
田中文書資料室主事 指定管理者荒井業務統括責任者 同高橋業務責任者

- 1 開 会
- 2 教育部長あいさつ
- 3 正副委員長の選出
- 4 委員長・副委員長あいさつ
- 5 議 事
 - (1) 報告事項
 - ① 平成 21 年度実績報告及び 22 年度事業概要について
 - ・ 奉仕活動のあらまし及び利用状況等について
 - ・ 施設維持管理業務について
 - ・ 文書資料室の業務について
 - ・ 地域図書館の利用状況について
 - ② まちなか絵本館の進捗状況について
 - (2) 協議事項
 - ① 平成 21 年度図書館活動評価及び 22 年度図書館活動評価について
 - ② 図書館協議会の公開について
 - (3) その他
- 6 閉会のあいさつ (館長)

7 会議録要旨

○活字離れ、業界においては新聞・雑誌の発売数の減少が見られるが、今後はどのようなところに力を入れていくべきと考えるか。

⇒活字資料とデジタル資料それぞれ要求があり二極化傾向にあるが、図書館としてどちらの方向へ進むか判断に迷うところである。

○図書館は無料貸本屋になってはならない。高価であっても長期的に見て良いものも置いてほしい。合併後、川口町図書館の資料はどのような位置づけとなったか。町政資料は検索できるか。

⇒合併に伴って川口町図書館について検討した結果、図書館のネットワークには含まずに公民館図書室として運営するに至った。町政資料については、今後調査したい。

○まちなか絵本館について

○地域図書館が増えると考えてよいか。

⇒子育ての駅ちびっこひろばの特色として、まちなか絵本館を設けたが図書館ではない。図書館から職員（司書）1名が出向いて専門的知識を提供し、運営に協力している。1万冊の本を管理するため、システムは図書館システムを利用している。

○利用対象に制限はあるか。

⇒小学生等も利用可能である。

○読み聞かせボランティアとして気軽に活動できる施設であってほしい。

⇒担当課と協議し前向きに考えたい。おはなしボランティアには、おはなし会やブックスタートをお願いする予定である。

○図書館の活動評価は、よりよい図書館に向かって図書館側が自主評価したものをこの場で確定して今後の活動に活かそうということによいか。

⇒よいという評価はこのまま進めて、課題があるものはこの協議会で改善策・意見を示したい。

○内部評価でできるものばかりではないと考えるがどうか。外部評価の検討についてはどのように考えているか。

⇒図書館評価については、まだ確定したものがない。昨年度から評価の必要性ありということで自己評価後に協議会で検討をしていただき、今後の活動に活かそうという考えで始めたところである。数値評価ではない評価を外部に求めることは難しい。

○評価のための評価をやって本来業務がおろそかになっては意味がない。経費をかけて精緻な外部評価を行ってどのような意味があるのかということで見切発進した経過がある。

○美術センターの利用方法はどのようにPRしているのか。利用の条件はどのようなものか。

⇒今年2月から、長岡市のホームページ上から空き状況を確認することが可能となった。パスワード登録を行えば仮予約も可能。図書館活動に関するものは無料、市主催の会議や講座も無料。市の公民館活動に準ずるものは半額。美術センターという呼称が市民に浸透していないようなので、美術センターのPRに力を入れたい。

○米百俵号の巡回はとても喜ばれている。学校と図書館が連携し読書案内ができればよいと思う。

○この会議に傍聴人を置くことについては、市民の関心を高めるために、また、市民参加という意味でよいと思う。

⇒傍聴人を置くためのルールを定め、次回から実施する。